

令和6年度 総合高齢社会対策推進協議会

# 総合高齢社会対策の取り組みについて

令和7年2月20日 福祉部 福祉総務課・高齢者福祉課



## 総合高齢社会対策プロジェクトの趣旨

- 豊島区は一人暮らし高齢者割合が全国一高い
- 一人暮らしは「社会的孤立」を生みやすく、社会的孤立は不健康や消費者被害、生活の質の低下などにつながる
- このため、高齢化への対応がより困難であることから、全国に先駆けた一歩踏み込んだ対応が必要



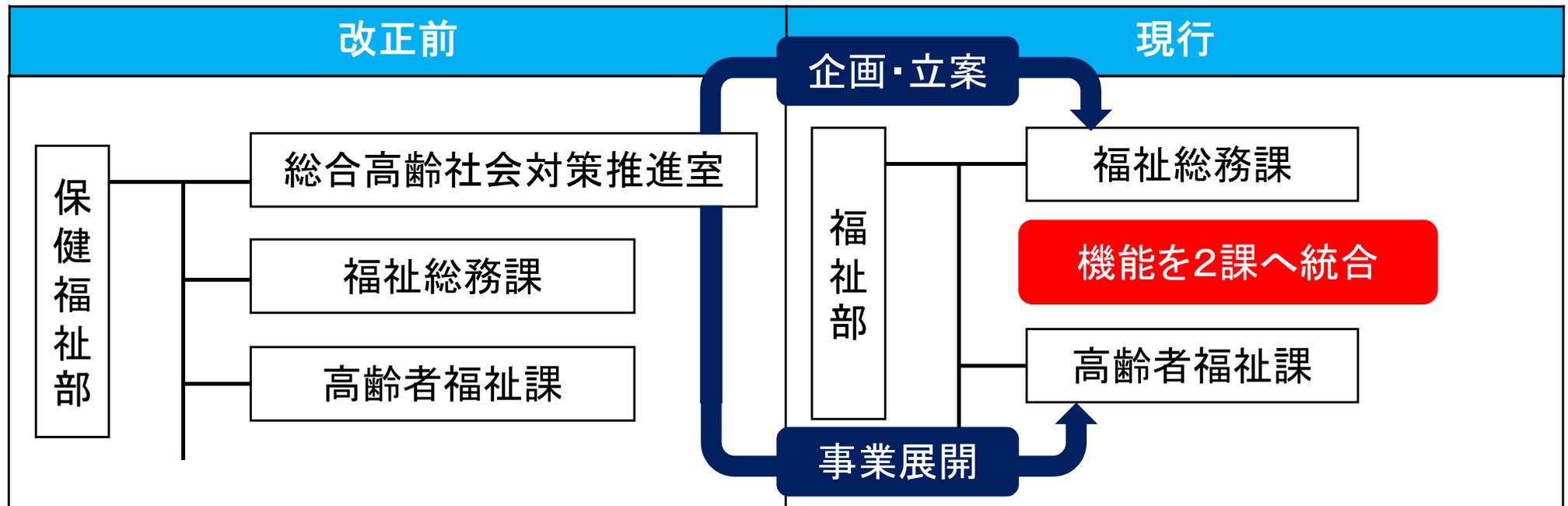
高齢社会において、だれもが、意欲・能力をいかして活躍でき、安心して暮らし続けることのできるまちづくりを実現するため、地域や関係機関とともに先駆的な取り組みを進めていきます。

住み慣れた地域で自立して生活できるよう様々な在宅福祉サービスの充実と合わせて日常生活支援体制の整備をしていきます。

【豊島区基本計画より抜粋】

## 令和6年度の組織体制について

- これまで「消滅可能性都市」から「持続発展都市」への転換に向けた柱のひとつとされた「高齢化への対応」について、「社会的孤立ゼロ」、「100歳健康」、「一人暮らしでも安心」の3つの対策により集中的に施策を推進
- 今後は総合高齢社会対策推進室が担ってきた企画・立案業務は、福祉総務課に引き継ぐ
- 「シニアライフが輝くまち」の実現に向けて、高齢者福祉課でさらなる事業展開を図る



社会的孤立ゼロ

## 誰一人取り残さないまちづくり

### ◆ 高齢者のための誰でも食堂推進助成

区民が自主的に開設する「誰でも食堂」の立ち上げや運営の経費を助成し、一人暮らしの高齢者等が地域でコミュニケーションをとれる環境を整備します。



誰でも食堂（令和6年12月時点）  
16カ所

R5  
開始

### ◆ 熱中症予防訪問

### ◆ 高齢者実態調査

75歳以上の一人暮らし高齢者（介護保険サービス利用者等を除く）を対象に、熱中症予防啓発訪問と合わせ、緊急連絡先の有無や生活状況等を聞き取り、必要に応じて支援につないでいきます。

熱中症訪問・高齢者実態調査対象者数（令和6年度）  
8,743人

R6  
実施

### ◆ デジタルシニア育成

高齢者のデジタルデバインド解消とQOLの向上に向けて、スマホ教室等を開催する「地域共生カフェ」の設置や、デジタル活用講座を開催し、高齢者のICT技術活用支援を行っています。

高齢者のスマートフォン所持率 78.0%  
（令和5年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

○デジタル活用講座等

受講者数 145人（令和5年度）

○地域共生カフェ

区民ひろば5か所で実施  
（駒込、豊成、上池袋、池袋、椎名町）



R4  
開始

### ◆ 東部高齢者総合相談センター サブセンター（相談窓口）設置

東部高齢者総合相談センター圏域で地理的に相談しにくい駒込地区にサブセンターを設置する。

R6  
拡充

## 100歳健康

## フレイル対策の推進

### ◆ ヒアリングフレイル対策

**R5  
開始**

○相談会・講演会の実施  
ヒアリングフレイル予防のため補聴器や難聴への理解をより一層高め、早期に相談できる機会を増やしました。

|                |        |
|----------------|--------|
| (令和6年度) 講演会の開催 | 73名参加  |
| 相談会の実施         | 117名参加 |



○補聴器購入費助成の拡充  
補聴器購入費の助成金額及び対象も拡充・新設しました。

|   |                  |   |                  |
|---|------------------|---|------------------|
| <b>拡充</b>   | 住民税<br>非課税       | <b>新規</b>   | 住民税<br>課税        |
|  | 助成上限額<br>50,000円 |  | 助成上限額<br>20,000円 |

(令和5年度) 助成件数 258件

### ◆ フレイル対策の強化

**R6  
拡充**

東池袋フレイル対策センターと高田介護予防センターの2拠点に加え、区民ひろばでの専門職による相談や講座等、フレイル対策を積極的に進めます。

また、地域住民による地域の担い手の育成やフレイルサポーター、介護予防サポーター等、自主活動や自主団体活動を支援し、地域とともにフレイル対策を強化します。

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 令和2年度来館者数    | 16,748人         |
| ⇒令和5年度       | 37,809人         |
| フレイルチェック実施人数 | 746人 (令和5年度)    |
| としまる体操登録グループ | 181グループ (令和5年度) |



- ◆ 主な取組
  - ・東池袋フレイル対策センター
  - ・高田介護予防センター運営【拡充】
  - ・フレイル対策機器の設置、活用
  - ・まちの相談室（区民ひろば）
  - ・フレイルチェック
  - ・地域住民担い手の育成

一人暮らしでも安心

## いざという時の安心

### ◆ 終活サポート事業

R2  
開始

社会福祉協議会内に「終活あんしんセンター」を開設し、終活に関するさまざまな相談に応じるほか、区内葬祭事業者等と連携し、葬儀・遺品整理等に関する生前契約を支援しています。

また、令和4年度から開始した終活情報登録事業により、もしもの時に各種情報や本人意思が親族等に正しく伝わるよう支援することで、終末期の不安解消等につなげています。

|      |             |       |
|------|-------------|-------|
| 相談件数 | 令和2年度       | 延100件 |
|      | ⇒令和5年度      | 755件  |
|      | 令和6年度（12月末） | 640件  |

終活情報登録件数（令和6年12月末） 49件



終活あんしんノートの配布 3,356部

### ◆ 見守りと支えあいネットワーク事業に関する協定

R元  
拡大

区内で活動されている事業者(運送、金融、小売等)と、異変があった際に区等へ連絡をする、緩やかな見守り等を実施する協定を締結しています。

|          |            |      |
|----------|------------|------|
| 協定締結事業者数 | 平成30年度     | 11団体 |
|          | ⇒ 令和6年12月末 | 32団体 |

### ◆ 認知症検診推進事業

R2  
開始

認知症に対する普及啓発および認知症の早期発見・早期対応を目的として、70・75歳・80歳の区民、及び65～80歳で希望する区民を対象に、認知症に関するセルフチェックシート付パンフレットを送付しています。希望者は検診を受診することができ、認知症の早期発見につなげています。

|            |         |        |
|------------|---------|--------|
| パンフレット送付件数 | 令和2年度   | 4,628件 |
|            | ⇒ 令和6年度 | 7,273件 |